

2015年8月21日

報道関係各位

NEC ネットズエスアイ株式会社

NEC ネットズエスアイ、ミャンマーに太陽光発電システムを設置
－非電化地帯の解消に向けた ODA に協力－

NEC ネットズエスアイ株式会社（本社：東京都文京区 代表取締役執行役員社長：和田雅夫 東証 1973、NESIC）は、ミャンマー連邦共和国（以下「ミャンマー」）において、非電化地域解消に向けた太陽光発電システムの設置を行い、このほど稼働いたしました。

ミャンマーは、2010年の民政化移行以降、長く続いた先進諸国の経済制裁が緩和され、今後の高い経済成長が期待されておりますが、そのための基盤となるインフラ整備が急がれております。特に、電力の面では、ミャンマー国内にある全村落約6万2千村のうち、非電化村落が7割（約4万5千村）を占める（2013年時点）など整備が遅れており、対応が急がれています。このような中、日本政府は政府開発援助（ODA）として、非電化村落に小規模水力発電及び太陽光発電を導入することで、当該地域における電化を促進し地域住民の生活環境を改善することを打ち出しました。

今回のプロジェクトは、この一環であり、一般財団法人日本国際協力システム（JICS）経由で、ミャンマー畜水産・地方開発省向けに NESIC のタイ法人が受注し、実施したものです。ミャンマーの中でも、少数民族が多いチン州とシャン州において、非電化村落を対象に、全7村落へ合計120KWの太陽光パネル及び付帯発電設備を設置いたしました。



シャン州に設置した太陽光発電システム

NESIC では、現在、タイ王国（以下、タイ）やサウジアラビア王国、ブラジル連邦共和国など5つの国に現地法人を有しており、これをベースに現地に根付いた海外事業の拡大を図っております。ミャンマーにおいても、電力インフラに加え、交通インフラに

伴う通信システムや、公共通信ネットワークなどの整備に注力していく考えであり、4月には NESIC タイのヤンゴン支店を設立いたしました。

NESIC は、今後とも、日本政府の ODA 案件に積極的に対応するとともに、今回設立したヤンゴン支店を活かし、ミャンマーの発展に貢献していく所存です。

以 上

明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズエスアイは、
お客様の目線に立ったこれからのコミュニケーションをデザインする会社として
お客様の価値向上に取り組んでまいります。

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

NEC ネットズエスアイ 海外事業統括本部

電 話 (03) 6699-7640 (直通)

<本件に関する報道関係からの問い合わせ先>

NEC ネットズエスアイ CSR コミュニケーション部

コーポレートコミュニケーショングループ

電 話 (03) 6699-7007 (直通)